

安全で快適な道路交通を実現するための ITS(Intelligent Transport Systems)は現在本格的な実用化に向けたフェーズに入りつつあり、実証実験・標準化をはじめとした研究・開発が広く行われています。ITS は人と車と道路を結ぶ高度なネットワークを実現するための要素技術、システム技術によって実現され、これらの技術は国内外において広く研究されており日々の発展は目覚ましいものがあります。最近ではスマートフォンを活用した応用も広がっています。そこで、ITS を支える要素技術、システム技術、アプリケーションなどを対象とする質の高い論文による論文小特集を出版することにより最新の話題の提供を行い、ITS 技術の更なる発展を図ることを目的として「ITS 技術小特集(2020年1月号)」を企画致しました。本小特集では、このテーマに関する英文論文を一般に広く募集します。

1. 対象分野

ITS と社会生活に関する総合的研究(福祉・エコロジー・法制度・保険制度・経済波及効果, 消費者・市民の立場からの要望, 都市計画など), ITS 関連産業のサービスを含めた総合的見地からの研究(ITS 技術の研究・開発・施策の動向, ITS 関連の開発機構・コンソーシアムなどの動向, 情報通信業界・自動車機器業界・交通インフラ業界などの動向, 国際標準化への貢献など), ITS アーキテクチャ, 歩行者 ITS, 航空・海上・陸上 ITS 技術, インテリジェントビークル(知能化車両), ITS ヒューマン技術(ITS のための認知工学・人間工学・認知心理学などを含む), ITS 交通制御, ITS インフラ技術, ITS センシング技術, ポジショニング技術, 衝突回避システム, ITS 通信技術, ITS 情報技術, ITS 画像技術, ITS エレクトロニクス技術, ITS デバイス技術, その他 ITS に関連する研究

2. 論文の執筆と取扱い

通常の論文執筆と同一とし、原則として刷り上がり 8 ページ程度、レターは 2 ページ程度とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html)に従って下さい。査読後の再提出期間が短縮される場合があります。投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本学会会員でなければなりません。論文掲載の場合、掲載料を前払いにてお支払い頂きますので、あらかじめ御了承下さい。掲載料支払い期限は 2019 年 10 月 15 日です。期限までに納入されないと掲載取り消しとなります。

3. 論文投稿締切日

2019 年 3 月 15 日(金) 厳守

4. 投稿方法

電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。なお、電子ファイルの作成や投稿論文管理システムの利用が困難な場合は、下記の間合せ先まで御相談ください。

https://review.ieice.org/regist_e.aspx より登録を行って下さい。フォーマットはPDFのみ受け付けます。なお登録時には必ず "Journal/Section " で [Special TS] Intelligent Transport Systems を選択して下さい。[Regular EA] Fundamentals を決して選択しないで下さい。

4. 書類送付先および問合せ先

間邊哲也

埼玉大学 大学院理工学研究科 数理電子情報部門 電気電子システム領域

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保 255

TEL: 048-858-3482, FAX: 048-858-3482, E-mail: manabe@mnb.ees.saitama-u.ac.jp

5. 小特集編集委員会

委員長 横田孝義(鳥取大学)

幹事 間邊哲也(埼玉大学), 佐保賢志(富山県立大学)

委員 橋本尚久(産業技術総合研究所), 小野口一則(弘前大学), 金帝演(鶴岡高専), 高取祐介(神奈川工科大学), 長谷川孝明(埼玉大学), 上條俊介(東京大学), 羽多野裕之(宇都宮大学), 羽瀨裕真(茨城大学), 牧戸知史(豊田中央研究所), 和田友孝(関西大), 水井潔(関東学院大学), 村田英一(京都大学), 山里敬也(名古屋大学), 古艶磊(東京大学), 藤井雅弘(宇都宮大学), 永長知孝(関東学院大学), 大野光平(明治大学), Thompson Simon(産業技術総合研究所)